

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2021 年 10 月 13 日
- 事業名 : 知的障がいのある子どもへの性暴力防止事業
- 資金分配団体 : 一般財団法人大阪府人権協会
- 実行団体 : 特定非営利活動法人キャップセンター・ジャパン

① 実績値

	アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の 達成状況	進捗 状況 *
1	つながりづくり 当事者以外を含む予防に取り組む ネットワークが構築される。	ネットワーク の構築	ネット ワーク が でき る。	—	<p>●事前評価アンケートの作成にあたって、これまでの活動のなかで障がいのある子どもへの暴力防止の中心を担ってきたCAPプログラム実践者と、CAPプログラムで培った知識・経験を再構築し、それぞれの地域の状況やCAP以外の活動での知見を共有し内容に反映させた。また事前評価アンケートの募集にあたってそれぞれのつながりのある人たちに情報共有し、回答を得ることができ、「回答するなかで振り返り・整理することができた」との反響をいただいた。</p> <p>●事前評価アンケート回答者 72 人から、子どもへの性暴力発覚（疑いを含む）のファーストステップに立つ可能性のある人（支援者）が日々孤軍奮闘（孤立）している状況が伺え、新規に 2021 年 11 月から実施するセミナーは、少人数で、グループワークを取り入れたネットワークづくりの目的も兼ねる。</p>	2
2	日常において知的障がいのある子ども の心とからだの境界線を育む知識 とスキルを持つおとなが増える。	知識とスキル をもって日常 生活に活かす	150 人 以上	2023 年度	●支援者が力を発揮するために人権にベースをおいた予防の土台をつくる必要があると、新規に 2021 年 11 月よりオンライン連続セミナー（ゼロベース+5 回をワンクールとする）を定期	2

		おとなの増加			的に実施することにする。 ●2022 年度以降試行する Circles の翻訳（仮訳）に企業、さらに今回の取り組みを通じてつながった方に依頼して取り掛かっている。監訳者と連絡をとり、スケジュールを確認している。	
3	知的障がいのある子どもが心とからだの境界線について日常で学び、実感する機会が増える。		90 人以上	2023 年度	●2022 年度以降試行する Circles の翻訳（仮訳）に取り掛かっている。監訳者と連絡をとり、スケジュールを確認している。	2
4	知的障がいのある子どもの心とからだの境界線を育むプログラム提供のできる実践者が養成される	境界線のプログラムを提供できる実践者の増加	36 人	2023 年度上半期	●2022 年度以降試行する Circles の翻訳（仮訳）に取り掛かっている。 監訳者と連絡をとり、スケジュールを確認している。 すでに子どもの人権をベースにプログラム提供をしている CAP プログラム実践者に機関誌を通じて、本事業の事前評価アンケートについて情報共有し、知的・発達障害のある子どもへの性暴力について共通認識を持ち、今後の境界線を育むプログラム提供に対する意欲を高める情報提供を行った。	2

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
現状、事業のすべてのやりとり（事務局内でもほぼ）はオンラインを通して非対面で行っている。 また、事業実施についてもオンライン（非対面）実施でコロナ感染の状況に左右されず開催できるよう準備している。

③ 広報 (※任意)

- 1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等) 中京テレビから問い合わせがあり、今後取材を受ける予定。
- 2.広報制作物等
- 3.報告書等

以 上